



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月5日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	317,109	5.3	10,496	△9.2	10,991	△8.6	6,607	△5.7
30年3月期第3四半期	301,012	6.0	11,554	26.5	12,023	25.0	7,003	33.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 5,683百万円(△30.4%) 30年3月期第3四半期 8,166百万円(37.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	132.55	131.28
30年3月期第3四半期	138.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	285,248	91,751	31.4
30年3月期	285,181	102,354	35.0

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 89,445百万円 30年3月期 99,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	64.00	64.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				64.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	3.4	17,500	△4.2	17,800	△6.0	10,500	1.4	212.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	50,834,700株	30年3月期	50,834,700株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	3,204,489株	30年3月期	235,568株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	49,847,419株	30年3月期3Q	50,599,132株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成31年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、平成30年5月11日開催の取締役会決議及び平成30年11月27日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得による影響を反映させております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	301,012	317,109
売上原価	267,985	285,144
売上総利益	33,026	31,965
販売費及び一般管理費	21,472	21,468
営業利益	11,554	10,496
営業外収益		
受取利息	236	216
受取配当金	124	135
負ののれん償却額	174	174
持分法による投資利益	39	20
貸倒引当金戻入額	8	6
その他	256	241
営業外収益合計	840	794
営業外費用		
支払利息	189	195
社債発行費	—	26
為替差損	9	—
その他	172	77
営業外費用合計	371	299
経常利益	12,023	10,991
特別利益		
固定資産売却益	4	58
事業譲渡益	20	—
その他	0	—
特別利益合計	25	58
特別損失		
固定資産売却損	3	0
減損損失	48	—
固定資産除却損	28	1
投資有価証券評価損	113	33
その他	3	—
特別損失合計	197	35
税金等調整前四半期純利益	11,852	11,013
法人税、住民税及び事業税	3,957	3,390
法人税等調整額	792	1,138
法人税等合計	4,749	4,528
四半期純利益	7,102	6,484
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	98	△122
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,003	6,607

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	7,102	6,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,105	△836
為替換算調整勘定	△46	1
退職給付に係る調整額	4	33
その他の包括利益合計	1,064	△801
四半期包括利益	8,166	5,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,108	5,803
非支配株主に係る四半期包括利益	58	△119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会決議及び平成30年11月27日開催の取締役会決議に基づき、普通株式734,300株及び普通株式2,234,600株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が12,999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が13,447百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	61,219	200,175	16,894	19,188	297,478	3,533	301,012	—	301,012
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,091	859	447	1,858	4,256	75	4,332	△4,332	—
計	62,311	201,035	17,341	21,046	301,735	3,609	305,344	△4,332	301,012
セグメント利益	6,000	2,701	698	2,122	11,523	192	11,716	△161	11,554

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△161百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△107百万円、未実現利益の調整額△47百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	60,762	215,681	17,751	19,086	313,281	3,828	317,109	—	317,109
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,466	894	139	1,404	3,903	190	4,094	△4,094	—
計	62,228	216,575	17,890	20,490	317,185	4,018	321,203	△4,094	317,109
セグメント利益	4,329	3,112	1,310	1,551	10,303	352	10,656	△159	10,496

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△159百万円には、セグメント間取引消去△65百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△96百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。